

## みどりの風クリニックだより

### 移転・開院1年6ヶ月、徐々に地域医療に浸透

みどりの風クリニック 院長 宮崎 義雄

みどりの風クリニックが移転・開院してから無事1年6ヶ月が経過しました。おかげさまで順調に患者さまの来院数も増えております。特に東成区の子供たちやお年寄りの患者さまが増えており、クリニックが地域の医療に浸透しつつあるのを日々実感しております。

今年4月から就任された新谷先生の漢方内科においては、大阪府内のみならず広く関西全域より患者さまにお越しいただき、煎じ薬をはじめ新谷先生にしかできない漢方治療を行っていただいております。またクリニックの特色の一つであるスポーツ整形においても関西圏をはじめ遠く岡山や愛知からも診察や手術に来ていただいております。現在、手術が必要な患者さまについては、港区にある「河村医院」様にご協力いただき、そちらの施設をお借りして手術をしております。

また、校友会活動のおかげで、卒業生の皆さまにも当クリニックを認知していただき、患者さまの紹介も徐々に増えてきており、各々診断・治療など専門的なアドバイスをさせていただいております。これからも患者さまによりよい医療を提供していきたいと思っております。また困った症例があれば遠慮なくクリニックにご相談ください。

みちのく

### 陸奥研修の記

みどりの風クリニック 漢方内科 新谷 卓弘

8月11日に仙台の清水内科外科医院の見学をしてきました。6月に札幌で開かれた第62回日本東洋医学会学術総会で、清水雅行先生の「がんに対する中西医結合治療」の発表に感銘を受けたからです。

清水医院は若林区にあり、あと10kmで仙台湾でした。平地なのに津波の被害を受けなかったのは高速道路の盛り土が防波堤になったからだそうです。ただ、医院の窓ガラスは全て割れ、壁に多くのひび割れが走っていました。

そんな中、癌で来院される患者さまは非常に少なく、むしろメンタル的に不調な方々がとても多いという印象でした。勉強になったことは、電子カルテを導入しているにもかかわらず、必ず患者さまと面と向かい合い、紙とボールペンで要点をメモし、右手だけで丁寧に六部定位の脈診や、舌診をしてから、最後にキーボードに向かってオーダーリングするという診療スタイルでした。明日からの診療にとっても役立つ研修となりました。



診察室にて。清水雅行先生(左)と筆者(右)

### ■ みどりの風クリニック「第1回臨床研修会」を開催!

7月23日(土)17時より森ノ宮医療学園附属みどりの風クリニック主催(森ノ宮医療学園校友会、森ノ宮柔道整復研究会後援)の臨床研修会が行なわれ、約50名の卒業生が参加しました。

今回のテーマは“整形外科との連携について”。リハビリテーション科、大森淳次先生が長年の臨床活動で得た貴重な症例を交えながら、陥りやすい問題点にスポットをあて、注意しておくべき点や、整形外科医との連携について詳しく説明されました。

今後もこの研修会では、学校のカリキュラム内では教えきれない現場の様々な情報を伝えていく予定です。



### ■ 第2回臨床研修会を開催します

森ノ宮医療学園附属みどりの風クリニック主催「第2回臨床研修会」を開催します。

【テーマ】評価について ～問診から治療へのプロセス～

【講師】川口 善教(理学療法士)

森ノ宮医療学園附属みどりの風クリニックリハビリテーション科

【日時】2011年11月26日(土) 17時～19時

【会場】森ノ宮医療学園専門学校

【対象】森ノ宮医療学園専門学校 卒業生、森ノ宮医療大学 卒業生

【定員】60名

【参加費】無料

【申込み】下記の申込み先までメールかお電話でご連絡ください。

森ノ宮医療学園専門学校 教務部柔道整復学科

担当：伊黒、外林、老後

e-mail: sotuken@morinomiya.ac.jp

T E L : 06-6976-6889

【締切】11月18日(土)(定員になり次第申込みは終了します)

【主催】森ノ宮医療学園附属みどりの風クリニック

【後援】森ノ宮柔道整復研究会、森ノ宮医療学園校友会

## みどりの風鍼灸院から ～治療現場から③～

### つわりに巨闕穴・膈俞穴

32歳、女性、主婦。第2子、妊娠16週である。3日前から嘔吐の回数が増えてきた。6回/日で夕方が一番つらい。そろそろ、つわりがらくなってもよいのにだんだんと嘔吐が頻回になった。朝はそうでもない。特に夕方は子供の夕食を作らなくてはと思い、精神的にもストレスが増大する。同時期から咳と痰がひどくなり、肩凝りも出現した。第1子が8ヶ月のとき逆子だったので鍼灸治療を受けた。そのときの鍼灸師の先生が「つわりにも鍼灸がよく効くのに」といわれたのを思い出して当鍼灸院に来院した。

第1子のときもつわりが強かったが、ひたすら我慢したとのこと。身長160cm、体重48kg、血圧:104/58 mmHg、脈拍:64/分(整脈)、上腹部の緊張(++)、生活像について睡眠は

不良。朝食はトーストと紅茶、グレープフルーツ。昼・夕食は、パン、うどんとグレープフルーツが中心である。咳や痰、肩凝りもつわりの増悪因子かもしれない。嘔吐しながらも何とか食事は摂取できている。症状から妊娠悪阻にまでは至っていないと考えた。

まずは咳と痰、肩凝りへの治療。嘔吐に対しては、上腹部・季肋部・横隔膜の緊張をとるイメージで行う。鍼灸治療は3回(17日間)で嘔吐が消失。嘔気と肩凝りほとんどなし。経過良好とのことで略治とした。

つわりに対する鍼灸治療については、胃の働きが亢進するような選穴はひかえること。特に、足三里・中脘・天枢はかえって嘔吐が激しくなる印象がある。遠隔的には内関の円皮鍼。横隔膜の緊張をとるイメージで、巨闕・膈俞が有効である。